

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	POCCOくしがた		
○保護者評価実施期間	2024年11月7日		~ 2024年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	2024年11月7日		~ 2024年12月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動が充実している	職員間のコミュニケーションの充実。連携がとれている。 日々の気づきを共有し、よりよい療育に向けて話し合うことができている。	研修で学んだことなどを取り入れていく。
2	個々の利用者に合わせた支援ができている	専門職(教員免許、保育士免許、介護福祉士、社会福祉士、心理士など)や経験年数の長い職員が在籍しているので、職員間で情報を共有し教え合うことで、職員一人ひとりの技術向上に努めている。 SM検査やKIDS、ヴァインランド検査等を1年に1度実施している。その結果をふまえて一人一人の力の伸びを確認したり、次に必要な支援を考えたりしている。全職員で情報を共有しより良い療育につながるようPDCAサイクルをまわしておこなっている。	研修等に参加し、より知識技能を高めていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者のストレス発散ができる場や気持ちが乱れた際にクールダウンできるスペースがない。	事業所のスペースが狭く、個室も限られている	野外活動、戸外活動を積極的におこない、身体を動かす時間を設ける。 トランポリンやバランスボールなどを活用し、刺激のある活動を取り入れる。
2			
3			